

## 本校舎 高等部

### 学部テーマ 「学びに向かう力を育む授業づくり」

#### ～観点別評価を通じた体系的な取り組み～

#### 1 テーマ設定の理由

本校舎高等部には、3障がい種7教育課程（実働5教育課程）に55名の生徒が在籍する。これまで、キャリア教育の視点から、生徒一人一人が働く力を身に付けることを目指し、授業改善に取り組んで来た。昨年度からの本校研究テーマを受け、高等部の実態に即した次の3つの理由から本テーマを掲げ、実践した。

- (1) 生徒の多様な実態に対応しつつ、学年の系統性や、教育課程ごとの横断的な繋がりを明文化して、体系的に取り組む必要があること。
- (2) 学習指導要領改定により整理された3つの柱を軸として、授業を効果的に実践すること。本稿では3つの柱を以下のように表記する。
  - ①個別の知識及び技能……観点①
  - ②思考力・判断力・表現力等……観点②
  - ③学びに向かう力・人間性（学習活動の目標・評価においては「主体的に学習に取り組む態度」と読み替え）……観点③
- (3) 観点③を引き出すために必要な、生徒の自己評価方法について、検証の必要があること。

#### 2 研究方針

新学習指導要領に対応し、高等部として系統的かつ効果的な授業を行うため、適切な目標設定と評価方法について検討し、授業改善に取り組む。教育課程ごとの研究グループ編成となるが、生徒が高等部としてのまとまりを感じられるよう、単元構成や授業展開に工夫を加える。各授業においては、到達目標を明確に示し、適切な支援や評価を連動させながら、生徒自身の達成感や向上心を効果的に引き出すようにする。

#### (1) 1年次概要

##### ア 新学習指導要領の3観点を柱とした授業改善

(ア) 準ずる教育グループ（以下Aと表記）『産業社会と人間』（イ）知的障害／重度重複グループ（以下C/Dと表記）『作業学習』（ウ）重度重複グループ（以下Dと表記）『自立活動』 ※ACDはクラス名と同じ

##### イ 年間指導計画の見直し

(ア) C『国語』C『数学』（イ）ACD『総合的な探求の時間』

#### (2) 2年次概要

##### ア 観点③に注目、生徒自身の達成感を伴った効果的な取り組みの検討

(ア) A『産業社会と人間』（イ）C/D『作業学習』（ウ）A『英語』（エ）C『国語』

(オ) C『校外学習事前事後学習』（カ）ACD『清明祭事前事後学習』

##### イ 教科別年間指導計画の横断的な活用

### 3 令和2・3年度 研究経過

R2		
4月	第1回全校研究会	
5月	今年度の方向性について	小グループ編成メンバー決定
6月	グループごと検討	推進計画書作成・研究実践
7月	A 産業社会と人間	授業実践を共有
9月	C 国数、総合的な探求の時間	年間指導計画についての検討
10月	D 自立活動	授業実践を共有
11月	CD各作業班	授業実践を共有
12月	今年度まとめについて ～グループごと検討	実践のまとめ 年間指導計画提案
R3年1月	実践報告、全校研究会に向けて	全校研発表内容検討・確認
	第2回全校研究会	
R3		
4月	第1回全校研究会	
5月	今年度の方向性について	小グループ編成メンバー決定
6月		推進計画書作成 年間指導計画検討
7月		年間指導計画検討
9月	C 国語 (A 英語)	授業検討会
10月		実践「パフォーマンス課題」
11月		実践「パフォーマンス課題」
12月		グループごと研究実践共有
1月	実践報告、全校研究会に向けて	全校研発表内容検討・確認
	第2回全校研究会	

### 4 研究実践

#### (1) 1年次

##### ア 新学習指導要領の3観点を柱とした授業改善

「目標の立て方」「評価方法」「評価水準」「評価の材料」を確認し指導略案を作成した。(別紙資料1)

- (ア) A『産業社会と人間』では、A組が独自に行ってきた作業的な活動を、高等部としての体系的学習として捉え直し、CD『作業学習』への参画を試みた。これにより、一年を通して系統的な学習が可能となり、生徒は高等部としての一体感を意識して活動することができた。(別紙資料1(ア))

- (イ) CD『作業学習』では、全班の指導略案を見合い、適切な目標立てと評価のあり方について検討した。更にA『産業社会と人間』で取り扱ったSDGsの概念を共通の教材として取り入れ、一部授業を連動させた。

個々の目標や、作業工程のような活動のヒントとなる要素の提示を工夫することにより、生徒の主体的な活動のきっかけを作ることができた。また3つの観点を軸に授業を組み立てることにより、バランスのとれた指導になった。(別紙資料1(イ))

- (ウ) D『自立活動』では、個に応じた適切な支援機器を活用することによって、生徒の活動領域が広がり、周囲とのコミュニケーションが増え、笑顔で活動したり意思を表出したりすることができるようになるとの仮説を立て、Tobii Eye Tracker 4C、抱っこスピーカー、EyeMoTボックス等、様々なツールを活用し実践した。観点別の目標が立てられた訳ではないが、客観的な評価ができるよう数値の記録を取り、個々の目標を意識して取り組んだ。家庭とも協力し、活動の場を広げることができた。(別紙資料1(ウ))

#### イ 年間指導計画の見直し

C『国語』『数学』、ACD『総合的な学習の時間(旧学習指導要領)』を対象とし、学習内容と目標を観点別に整理した。(別紙資料2)

- (2) 2年次 観点③を引き出す支援についての考察

#### ア 観点③に注目、生徒自身の達成感を伴った効果的な取り組みの検討

観点③については、生徒の「分かった」「できた」の先に、生徒自身が「生活に生かそう」と考える意欲をもつことが求められるが、到達度を評価する場合、あいまいな部分が多い。主体的な学習態度を評価するに当たり、学習のねらいを確認し、評価項目や評価の基準を明らかにして取り組む必要がある。生徒の達成感を伴う理解を生徒自身が自己評価し表現できるよう、パフォーマンス課題とルーブリック評価を取り入れ実践した。(資料3)

以下、教科単元ごとに○良かった点●課題点で列挙する。

- (ア) A『産業社会と人間』『作業班との合同会議』(資料3(ア))

○『国語表現』『現代社会』など、各教科の見方考え方を働かせて、話し合いを進め、まとめることができた。

○生徒同士で話し合っ工夫したことが製品に生かされ、達成感を引き出すことができた。

○教育課程を超え、互いの良さを認め合うきっかけとなった。

●C組生徒の想定外の発言等にA組生徒が対応できなかった。周到に準備を



して成功体験とするのか、準備のないところから話し合えるような実践力を身に付けるのか、目標を絞る必要があった。

●どの生徒にも高等部としての一体感を意識させるため、合同会議の詳細を各班長が作業班に持ち帰って報告する時間や方法を検討する。

(イ) CD『作業学習』(資料3(イ))

○3観点を目標にしたことで、生徒教師相互に作業種目一つ一つを大事に考えるきっかけになり、評価の基準がはっきりした。

○目標ごとに評価を行うことで生徒の作業意欲を引き出すことができた。

○具体的な他者評価は生徒の自信につながった。

●毎日の作業で3観点を設定することは現実的ではない。また、調理、販売など、数値で目標を立てにくい作業では、3観点での評価が合わないと感じる。

●共通の目標立てでは、「丁寧に」「売れるように」など、逆に目標がぼんやりして、生徒達の評価が一様になってしまった。

(ウ) A『英語』(資料3(ウ))

○教材の工夫により本時の到達点(目標)が分かりやすく示され、生徒自身の深い思考や達成感を引き出すことにつながった。

○個に応じた目標設定が適切であり、生徒は安心して学習活動に集中することができていた。

●クラス内の学力差への対応は難しい。

(エ) C『国語』(資料3(エ))

○振り返りワークシートから、生徒自身の達成感や、次の展開への期待感が読み取れる。

○本単元では個別の活動が多く、授業を計画するとき、毎時3観点の目標設定にこだわると授業を進めにくいとも感じるが、生徒について細かく見ることができてよいと感じた。

●生徒はこれまで、SNSなどについて危険性を十分学習しているが、インターネットの有効な活用については、経験も少なく、不慣れな様子であった。ICT活用法について、もう少し効果的な活用法を検討したい。

(オ) C『校外学習事前事後学習』(資料3(オ))

○生徒は積極的に調べ学習を行い、成果を見学先で生かすことができた。振り返りシートからも、一関のことに興味をもち、この体験を生活に結び付けて考える様子が見られ、単元の目標に迫ることができたと考えた。

●一度限りの行事で終わらせず、年間を通した取り組みにつなげることができるとよい。

(カ) ACD『清明祭事前事後学習』(資料3(カ))

○ルーブリック評価の方法について概略を示し、高等部全体で取り組んだ。

目標のパターンを絞り、なるべく生徒自身で目標設定や評価ができるようにしたことで、生徒は自信をもって自己評価をすることができた。生徒の考えを引き出すためのスモールステップとなっていた。

●短期間での実施は、成果としての生徒の変容を引き出しにくい。

#### イ 教科別年間指導計画の横断的な活用

年度始めに、教務より年間指導計画の新様式が提示されたため、今年度は各教科での対応とし、学部としての検証は年度末以降に行うこととした。

### 5 成果と課題

#### (1) 成果

ア 3観点を意識した目標立てと、適切な評価のあり方について検討し、年間指導計画と授業改善に取り組んだ。教師にとっては目標がすなわち指導の根拠となり、生徒にとっては分かりやすい指標となることが確認できた。また3観点から授業を組み立てることは、指導内容が整理されることにもなり、生徒の学びの定着・深化を促す好材料になることが分かった。

イ 観点③へのアプローチとして、パフォーマンス課題とルーブリック評価に取り組んだ。生徒のワークシートからは、授業で得た知識技能を生活に結び付けようとする姿を生徒自身の言葉で捉えることができ、教師生徒相互に、「深い学び」への評価がしやすくなった。

ウ 『産業社会と人間』と『作業学習』に共通の概念（SDGs）を取り入れ、連動させたことにより、生徒は教育課程を超えて、高等部としてのまとまりを意識することができるようになった。

#### (2) 課題

ア 年間指導計画の横断的な活用については未実施である。引き続き検討を行う。

イ パフォーマンス課題では、目標設定から評価までの短いスパンで課題に取り組んでも成果を得にくく、教師の多忙感が増す。年間指導計画と併せ、一年を見通した計画や目標立てを行うべきである。

### 6 まとめ

新学習指導要領改定において示された「新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力の三つの柱」について考察し、実践した。中でも「学びに向かう力・人間性」への取り組みは、個々の多様性を尊重するこの社会において、これからますます重要になって来ると考えられるが、その評価については未だ手探りの部分が多い。

多様な障害種、複数の教育課程、そして多様な実態に応じて必要な支援を取り組み、しかも明確な根拠をもって支援すること、そして互いのよさを認め学部としてのまとまりを保つことが生徒の成長に繋がるよう、引き続き取り組んでいきたい。

資料1-1 3観点のとらえ

〔例〕 単元名「清明祭に向けて、美しい裂き織り製品を協力して作ろう」（縫製班）					
【目標の例】：単元のまとまりでは三つの観点から目標を立てるが、毎時三観点を揃える必要はない。適切な表記を徹底する。（ <u>題材</u> 、 <u>学習内容</u> 、 <u>到達目標</u> ）					
① 個別の知識・技能（＝知識・技能の熟達、本稿では「観点①」と表記）					
製品を	手順通りに	作ることができる。			
題材	学習内容	到達目標			
② 思考力・判断力・表現力等（＝問題解決能力の獲得、本稿では「観点②」と表記）					
製品の	出来映えを意識しながら、	丁寧に作業することができる。			
題材	学習内容	到達目標			
③ 学びに向かう力・人間性（＝資質・能力の向上、学習活動の目標・評価においては「主体的に学習に取り組む態度」と読み替え、本稿では「観点③」と表記）					
ワークシートで自分の成果を評価するとともに次回への改善につなげる。					
題材	学習内容	到達目標			
評価材料、方法					
観点①	観点②	観点③			
一般的なペーパーテスト 実技 課題提出	グループディスカッション、発表、 レポート、作品、実演、記述式問題	「主体的に学習に取り組む態度」と読み替えて 評価 パフォーマンス課題（自己評価を含む）、ループ リック評価、ポートフォリオ、観察			
評価水準（1段階→3段階へレベルアップ）					
3	継続することができる	3	評価・改善を繰り返し継続的に行動することができる	3	評価・改善を繰り返し継続的に行動している
2	できる	2	他の考えを受け入れ自分の参考にすることができる	2	自ら改善し行動している
1	知る	1	自分の考えを表現することができる	1	予測・振り返りに取り組んでいる
語尾 ～できる		語尾 ～できる		語尾 ～ている	
評価の例 観点③					
製品作りの手順を覚え、ワークシートに正しく記録するとともに、次の学習で活用しようとしている。					
学習内容	題材	到達目標			

資料 1-2 (ア) 略案様式～産業社会と人間、ワークシート

SDGs	8/30 時間	7月8日	2A教室	2A2名	(3名欠席)	指導者	AB
目標	1 本校作業班を、SDGsに関連づけて理解することができる。(観点①) 2 作業班に関わって自分にできることを考え、実行することができる。(観点②) 3 継続して作業班に働きかける方法を考えている。(観点③)						
生徒の実態	・「SDGs」単元の計画に沿って学習活動を展開中。この概念を高等部に広めるための方策について、前時まで意見を出し合った。 ・生徒 C は集団活動を苦手としているが、クラスの中では自発的に行動できる。			本時の目標 1 <u>iPad</u> ソフトの使い方を覚え、 <u>データ入力</u> することができる。(観点①) 2 データをもとに <u>進捗状況</u> を把握し、 <u>優先順位</u> を判断できる。(観点②) 3 <u>本時の経過</u> を振り返り、 <u>自分の成果</u> を評価するとともに、 <u>改善</u> につなげている。(観点③)			
評価	(導入ー展開ーまとめ略) 進捗状況確認、タスク管理表入力、宣伝のための印刷物制作 1 Numbers(iPad ソフト)で時間内にデータ入力することができた。 2 入力した一覧から優先順位を確認し、日程を決めた。午後からの取り組みについては、今日のうちに解決できそうなこと(ちらしの仕上げ)を選んで取り組み、終わらせることができた。 3 振り返りシートへの記述から、生活場面に生かそうとする様子が見られた。						

作業班について調べよう4

目標 1 本校作業班を、SDGs の概念から学ぶ。(知識・技能) 1 SDGsについてわかったこと ・自然環境への取り組み。 ・食品も道がよくなる。 ・自分達は知恵を交わすに取組んでいる。 SDGsは身のまわりにたくさんあるんだ		
2 作業班にSDGはあるか?		
農耕機械班 7. トラクターと刈り取り機 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう	リサイクル班 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう	調理班 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう
木工班 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう	陶芸班 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう	縫製班 8. 働かさない経済成長 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任、つかう責任 17. パートナーシップで目標を達成しよう
まとめ 評価 作業班とSDGsの関連性が分かったか。 A 人に説明できるレベル B 自分の中で十分分かってる C 分からない		

SDGs まとめ // 月/日 (木) 氏名

【本日の学習内容】 ・清明祭のふりかえり(反省と今後の展開)	【目標】 ・SDGsについてまとめる
清明祭: 制作物についての感想、反省 ① ポスター ・自分でロゴも考え作ることが出来た。 完成したものはすごくいい感じで気に入ってる。	今後の展開 ・貼る? 皆見るとここに貼るかも。 ・水くいて貼る!
② 印刷物 昨日で学習したこと、先生や友達にアドバイスをもらって良い感じにまとめることが出来てきている。 ・完成することが出来ることに。	・完成してる。 ・見てもらえるように皆に見せたい。 発表?
③ 動画 ・かっこいいので作りあげてほしい。 ・見てみたい。	・作してほしい。 ・発表してほしい。
SDGsについて 総合的な感想、反省 ・持続可能な未来、このためにどんなことが大事で、今どんなことを世界で取り組んでいるのか! 自分にはなにが出来たか! など普段考えないようなことや、自分の知らないことを考えたり、知ったりするいい機会だった。 ・調べて、作って、考えて...いろんなことが初めてだった。 ・そうやって計画的に進めたり、授業以外でも積極的に調べるとか考えとかはすごくいいし、これからどうしたいと思ってる。	

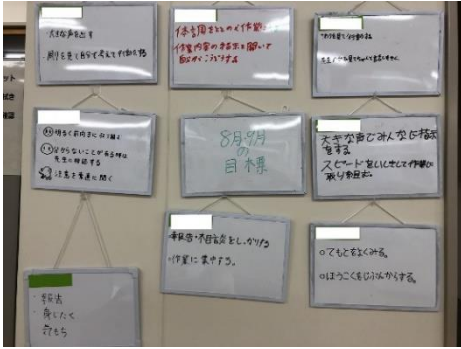
資料 1-2 (イ) 作業学習 (木工班の例) 略案と教材教具

単元名：作業学習 (木工班) 「清明祭に向けて製品を完成しよう」 日時：令和 2 年 1 0 月 ～ 1 1 月 場所：木工室 生徒：高等部知的通常学級 1・2・3 年生 男子 8 名 指導者：A B		
指導目標 (学習指導要領 3 つの観点に対応) ① 指示を正しく聞いて、安全に作業に取り組むことができる。 ② 自分から報告・質問・相談ができる。 ③ 仲間と協力して、進んで作業に取り組むことができる。		
対象生徒の実態、課題など ・困った時に自分から相談することが難しい。 (C, D, E) ・自己評価が高い生徒、低い生徒が見られる。 (F, G, H) ・適切な言葉づかいが難しい (I, J)	本時の到達目標 (1)安全に作業し、丁寧な製品づくりができる。①② (2)仲間と声を掛け合いながら、協力して取り組むことができる。③ (3)個人目標を立て、チェックルーブリックを使って振り返りができる。	
時間	内容	教師の働きかけなど
9:45	朝礼	・安全面に十分配慮する。 ・必要以上に声掛けをせず、自分たちで考えて作業できるようにする。また、仲間と声を掛け合い、協力して取り組むことや、困った時はすぐに質問・相談をすることを繰り返し伝える。
10:00	作業内容・個人目標を確認 作業 <作業内容> ○マルシェボックス・・・CD (加工) ○杉ベンチ・・・EF (組み立て)、竜悟 (オイル) ○丸椅子・・・GHI (加工・組み立て)	
10:45	休憩 (15分)	・ペアは、生徒の実態に応じて、2・3年生と1年生に分かれて作業している。コミュニケーション、言葉づかい、お互いに気付いて伝え合う場を設ける。
11:00	作業	
11:55	掃除・片付け	・指示はメモをとって聞くことを伝える。
12:05	日誌記入・・・チェックルーブリックを活用し、自己評価と振り返りを行う。	
12:15	終礼・・・個人目標を振り返る	
12:25	作業終了	
本時の評価 ○成果 ●課題 (1)○安全に気をつけて作業することができた。 (2)○周りを見て、声を掛け合う様子が何名か見られた。組み立てでは、仲間と協力して、作業することができた。		



(3) ○チェックルーブリックを活用して、振り返りや次時の目標をたてることができている。  
 ●項目が多く、自分で評価することが難しい生徒もいた。

○目標提示

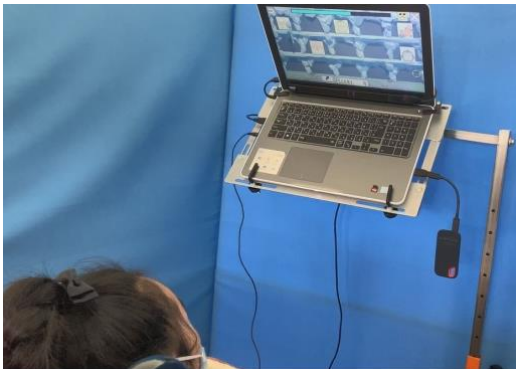


作業報告・ふりかえり チェックシート No.				
日付	月	日	曜日	天気
項目	切り方 磨き	加工 組み立て	面取り 焼き	やすり 仕上げ
評価	A 良い (声・音響良い・姿勢)	B 普通 (正確性・丁寧さ)	C もう少し	D ミス 備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
総合評価				

○ルーブリック評価表（木工班の例・一部抜粋）：生徒教師が同一の基準をもとに達成度を評価。

	A	B	C
	じ かん 時 間	どう ぐ 道 具	しつもん かくにん はんたん 質 問 ・ 確 認 ・ 判 断
5	くふう ころりつよ 工夫して効率良く作業した。	ていまい あつか てきせつ 丁寧に扱い、適切に使える。	くふう 自分で工夫したことを確認して行動した。
4	じかん 時間を守り、時間いっぱい集 中 して 作業した。	てきせつ 適切に使える。	かくにん 分かっていることを確認して行動した。
3	じかん 時間を守り、促 されながら作業した。	名前と使い方が分かった。	分からないことを質問した。 分かっていることを質問した。
2	時間を守った。	名前が分かった。	初めてのことを自己判断して行い成功した。
1	おく 遅れたり自己判断で休憩したりし た。	名前が分からない。使い方が分か らない。	分からないことをそのままにしていた。 自己判断をしてミスをした。

資料1-2 (ウ) 自立活動実践の様子



資料2 年間指導計画 一部（総合的な探求の時間）掲載

	単元	知識及び技能 ペーパーテスト、実技テスト、課題提出	思考力・判断力・表現力 グループディスカッション、発表、レポート、 作詩、実演、記述式問題	主体的に学習に取り組む態度（学びに向かう力、人間性等） 単元や題材のまとまりの中で学習/指導内容と評価を組 み立てる。日々の教育活動や総合学習を通じて積極的 に子供に伝える。
4月	・オリエンテーション	・1年の進路に向けての学習内容を把握する。	・各行事が進路にどのように結びつくのか思い描 くことができる。	・年序予定表に連絡活動を記入し見とおしをもつことが できる。
5月	・自分を知らう	・自分自身のことや、家庭環境、性格等を知る。	・いろいろな面から自分自身を見つめることがで きる。	・ワークシートの活用により、大まかでも自己理解につ ながることができる。
6月	・働く人になろう1 (前期校内現場実習・実習報告会)	・働くことは学校の生活と何が違うのかを知る (1年) ・働くために必要な力を知る。(2年) ・長く働き続けるために必要な力を知る。	・専攻の授業と実習の違いに気づくことができ る。(1年) ・実習をとおして、働くために必要な力を感じ取 ることができる。(2年) ・働き続けるために必要なこと、不必要なことの 判断ができる(3年) (全学年)・実習の感想を皆の前で発表すること ができる。	自分の言葉で適切に表現することができる。
7 ~8月	・いろいろな仕事を知らう (会社説明会) (福祉サービス事業所説明会)	・学校や家の周りの仕事、先輩たちの仕事先から 様々な仕事があることを知る。 (1・2A、1・2C、3C)	・多くの仕事を知り、その仕事内容をイメージす ることができる。	・多くの資料を提供し、その資料活用ができる。
8月	好きなしぐさを見につけよう1.(A) (ジョブカフェ出前授業)	・基本的な対人関係のマナーを知る。 ・職場のマナー・働く姿勢	・	・好きなしぐさを表現することができる。
9月	先輩から学ぼう(全学年) (先輩と語る会)	・先輩の仕事や仕事外での様々な生活から、卒業 後の生活をイメージする。	・講演者に注目して話を聞き、先輩の仕事や卒業 の様子を見聞きし、自分と比較することができる。	・先輩に聞きかいたことを積極的に質問することができる。
10月	働く人になろう2 (後期校内現場実習・実習報告会)	・働くことは学校の生活と何が違うのかを知る (1年) ・働くために必要な力を知る。(2年) ・長く働き続けるために必要な力を知る。(3年) (全学年) 実習を	・専攻の授業と実習の違いに気づくことがで きる。(1年) ・実習をとおして、働くために必要な力を感じ取 ることができる。(2年) ・働き続けるために必要なこと、不必要なことの 判断ができる(3年) (全学年)・実習の感想を皆の前で発表すること ができる。	自分の言葉で適切に表現することができる。
11月	・将来を設計してみよう(全1・2年) ・トランプルに気をつけよう(3年)	・将来の年代別の生活をイメージし、今から何を すればよいか考える。 ・対人関係、健康な生活、金銭管理、詐欺などの 事例からその重大さを知り、自分がまきこまれない にはどうしたらいいのか考える。	・年代別に自分の生活スタイルを表現することが できる。 ・善悪の判断ができ、悪い話にははっきりと断 る姿勢を持てることできる。	・ワークシートの活用により、大まかでも今後の生活をイ メージできる。 ・多くの事例を提示し、その事例について自分の意見を話 すことができる。
12月	トランプルに気をつけよう(全1・2年)	・対人関係、健康な生活、金銭管理、詐欺などの 事例からその重大さを知る。	・善悪の判断ができる。	・多くの事例を提示し、その事例について自分の意見を話 すことができる。
1月	・自分の適性を知ろう。(全1・2 次 年度進路希望調査) ・将来を設計しよう(全3年 移行支援 会議)	・自分の得意・不得意、行動や性格、保護者の感 見から適性を知る。 ・将来、自分がどんな生き方をしたいか思い描 く。	・身近な人の意見を尊重し、自分の適性を考える ことができる。 ・自分の好きな生き方にするにはどうしたらいいか 表現することができる。	・ワークシートの活用により、自分の適性について話す ことができる。 ・
2月	・進路希望先を調べよう(全1・2年 (次年度進路希望調査) ・好きなしぐさを見につけよう2.(A) (ジョブカフェ出前授業)	・事業所調査から、自分の意思で進路希望先(実 習希望先)を決定する。 ・校内実習に向けての所作、マナーを知る(1A) ・就職に向けての所作、マナーを知る(2A)	・各種のシンプや資料を活用し、進路希望先(実 習先)を自分決めることができる。 ・校内実習に向けての所作、マナーを知り、表現 することができる。 ・就職に向けての所作、マナーを知り、表現する ことができる。(2A)	・自己決定ができる。 ・好きなしぐさを表現することができる。
3月	・社会人になろう(全3年) ・オリエンテーション(全)	・社会人としての身だしなみを整えることができ る。(全3) ・1年間の進路学習を振り返り、まとめを行うこ とができる。	・社会人としての身だしなみを実際に体験し、そ の大切さを理解することができる。 ・1年間の進路学習を年度にまとめ、その時々の 課題を理解し、次に生かすことができる。	・実体験の取り組みをとおし、積極性や意欲的な態度を判 断する。 ・卒業等の一助を準備し、今後の進路により一人一人の 実態に合わせ、支援する

資料3-1 パフォーマンス課題とルーブリック評価 ①とらえ

〈パフォーマンス評価〉  
 思考する必然性のある場面（文脈）で生  
 み出される子どもの振る舞いや作品（パフ  
 ーマンス）を手がかりに、概念の意味理  
 解や、知識・技能の総合的な活用力を質的  
 に評価する方法。  
 広義の評価材料：発言や行動、ノート記  
 述等、日々の学習活動のプロセスをインフ  
 ォーマルに評価する。  
 狭義の評価材料：子供の實力を試す課題  
 を設計し、活動のプロセスや成果物を評価  
 する。課題、プロセス、ポートフォリオ等  
 における思考の表現を質的エビデンスと  
 して評価していく。『見方考え方を育て  
 るパフォーマンス評価』P14 一部要約抜粋

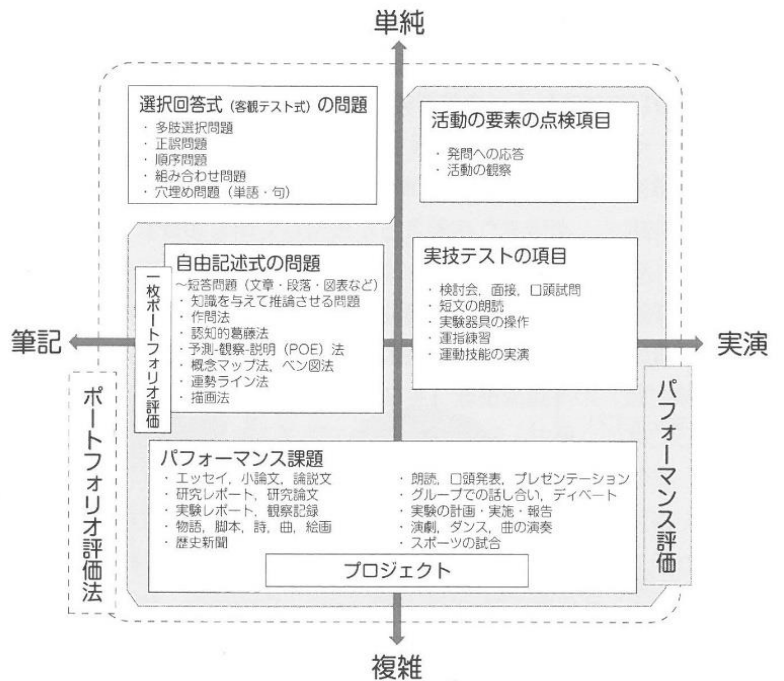


図1-1 学力評価の様々な方法

(西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計』図書文化、2016年、p.83)

②様式 ※教科科目ごとにアレンジする。パフォーマンス評価

例1 班 氏名

パフォーマンス課題	〈例〉清明祭に向けて良い製品を作る 「ポコちゃん」
内容	<p>〈例〉</p> <p>(1) 作り方を覚える 一人で作れる 後で再現できる</p> <p>(2) 製品の精度を上げる 技術を上げる スピードを上げる 心を込める</p> <p>(3) どうすれば売れるか考える(宣伝方法 Aと協力 SDGsを推進 精度を上げる 心を込める等)</p>

**班ごと検討/記入**

- ・ 課題
- ・ 内容 (1) (2) (3)
- ・ 評価ルーブリック

月 日 ( 曜日) 「ポコちゃん」を作ります。意気込みを書きましょう。

初日の意識を記録しておき、最終日と比べる

先生から

評価ルーブリック

	(1) 製品をつくる	(2) 製品のよさ	(3) 社会生活につなげる
A	次も、準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	正確に、ていねいに作った(4個以上)	皆で一番良い方法を選んだ次につながる意見を持った
B	手順表を確認しながら一人で正確に作った	正確に作った(3個)	自分の考えを伝えたみんなの意見を聞いて参考にした
C	先生に教えられながら作った	指示どおりに作った少しまちがえた(3個)	

毎時作業終了時に記入  
 日誌とかぶるところもある

毎日の自己評価 (ルーブリックを参考にABCで評価 上段は)

月日(曜)	(1)	(2)	(3)
9/21(火)	A	ポコちゃんをきれいに作った	A
	C	手順をおぼえていない	C
9/23(木)	B	一人で作れた	B
	B	手順で作った	B
9/24(金)	A		A
	B		B
総合評価	自分 先生 B	先生	先生 B

ABCで一番数の多かった記号を記載

最終日振り返り  
 肯定的な内容になるよう促す

ふりかえり

先生から



資料3 (ア) A 『産業社会と人間』

ワークシート

本時 合同会議 7月5日(木) 2K 教室 2C1

目標 本校作業学習 効果的な発信のありかたについて、/じょうずにおしらせしよう

内容 チラシの修正案 今後へのアイデアを話し合う

A 役割分担 進行(R・S) 記録・まとめ(N・)	1. 開会 2. 各組からの意見 調一商一農一機一木一リ 3. 今後のアイデア フリートーク 4. まとめ(記録 N) 5. 閉会	同会は話題提供に努める 「来客があるのはどうい うときか」 「チラシをどのように扱 うか」 「コラボレーション製品 のアイデアはあるか」 など
---------------------------	---	--

ルーブリック評価表

到達水準		自己評価/先生
A	CD	
A	自分の意見・長所両面を考慮し、より良い結論を出した。	△ /
B	他の人の意見を分析し、良い点に賛成した。	○ /
C	自分の意見を表現した。	X /

自由記述

録音の内容的には、みんなが話し合い意見も積極的に言っていて、良い感じでした。

驚くようなアイデアや意見もあって面白かったです。

役々と方向性を着目認識できていて、深い内容だと思いました。

記録に欠けて意見はあまり話し合えないと感じたので、次回からは

深めると同時に、先生も2人記録者が欲しいです。

先生から

作業学習の到達目標が算数・国語・英語・社会・理科・体育・音楽・美術・総合・道徳・保健体育・情報・外国語・キャリア・総合的な学習の時間(探究)・適時の建設的対話(話し合い)の促進(説明・対話)という4つの領域に設定されている。その中で、各領域の学習目標を達成させるために、どのような学習活動を行う必要があるのか、について話し合った。

資料3 (イ) 作業班

木工班 氏名 [ ]

目標 (パフォーマンス課題) 清明祭で販売するために、丁寧にみんなで協力して製品を作る。

内容 (そのためには...)

(1) 作り方を覚える 一人で作れる 後で再現できる

(2) 製品の精度を上げる 技術を上げる スピードを上げる 心を込める

(3) どうすれば売れるか考える(宣伝方法 Aと協力 SDGsを推進 精度を上げる 心を込める等)

個人目標 9月27日(月曜日)例「ポコちゃん」を作ります。 意気込みを書きましよう。

先生から ミニ丸印(指輪、指輪)の完成を目標にしよう!

評価ルーブリック

	(1) 製品をつくる	(2) 製品のよさ	(3) 社会生活につながる
A	次も、準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	正確に、ていねいに作った	みんなで 良い方法を選んだ 次につながる意見を持った
B	確認しながら一人で正確に作った	正確に作った	自分の考えを伝えた みんなの意見を聞いて参考にした
C	先生に教えられながら作った	指示どおりに作った	指示されたことを守った

毎日の自己評価 (ルーブリックを参考にABCで評価 上段は生徒、下段は先生)

月日(曜)	(1)	(2)	(3)
9/26 (木) 20分	A 準備(材料の準備、道具の準備) 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
9/28 (土) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
9/29 (日) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
9/30 (月) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/1 (火) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/2 (水) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/3 (木) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/4 (金) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/5 (土) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/6 (日) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/7 (月) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/8 (火) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/9 (水) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/10 (木) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/11 (金) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/12 (土) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/13 (日) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/14 (月) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/15 (火) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/16 (水) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/17 (木) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/18 (金) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/19 (土) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/20 (日) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/21 (月) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/22 (火) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/23 (水) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/24 (木) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/25 (金) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/26 (土) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/27 (日) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/28 (月) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/29 (火) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/30 (水) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する
10/31 (木) 20分	A 1人で正確に作る	C トリコートを正確に作る	B 準備や材料の準備、道具の準備に注意する

ふりかえり 今回の授業で、準備や道具の準備、道具の準備に注意する。作業が出来るようになった。作業が出来るようになった。

先生から 自己評価を記載し、いつもより、より良い作業が行えたと思います。

資料3 (ウ) A コミュニケーション英語

「Let's Communicate3 道案内をしよう」 振り返り

Name [ ]

○これまでの学習内容 (主な活動内容)

- 単語や文の読み方とその使い方 (Speaking, Reading)
- 資料を活用し、道案内の文章を書く (Writing)
- 知っている単語を使って、相手に伝えるように道案内ができた (Listening, Speaking)

○できるようになったこと

	A	B	C
道案内に使用する英単語を正しく読むことができた	○		
対話文から目的地や行き方など情報を聞き取ることができた		○	
知っている単語を使って、相手に伝えるように道案内ができた			○

※A...一人で積極的にできた、自ら正確にできた  
B...資料などのヒントを参考にできてきた C...あまりできなかった

○授業の感想 (A...とてもそうだ B...そうだ C...あまりそうではない)

①道案内をするときにどのような情報が必要かわかりましたか A (B) C

②生活の中で、英語を使った会話をしてみたいと思いますか A (B) C

③これからの英語の授業で、英語を使った会話にもっと挑戦してみたいと思いますか (A) B C

④授業を受けて、自分ができたことや感想など、自由に書いてください

今回の言葉 (Next, Second) を使って話すことができました。

単語と右を左、左を右と交換して、自分の意思を伝えることができました。

自分の意思を伝えるために、自分の意思を伝えることができました。

私の英語を使えば、会話を楽しめます。

資料3 (エ) C 国語

「旅行の計画を立てよう」 振り返り

Name [ ]

○授業でやったこと

- 身近なメディアについての比較をした (新聞、テレビ、インターネット)
- iPadを使って、目的地や交通手段、宿泊先について調べた
- 調べた情報をプリントにまとめた

○みんなができるようになったこと

	A	B	C
インターネットを使って、必要な情報を集めることができた	○		
旅行の計画に沿って、情報をまとめることができた		○	
将来の生活でも興味のあることをインターネットで調べたいと思った			○

※A...家で一人で再現できる B...授業中にできた C...あまりできなかった

○授業の感想

① インターネットを便利だと感じましたか (A) B C

② これからの生活で、積極的にインターネットを使いたいと思いますか (A) B C

③ これからの生活の中で、調べてみたいと思うことを書いてください

旅行の計画の作成と旅行の準備の作成は、旅行の計画を立てるのに必要です。

旅行の計画を立てるのに必要です。

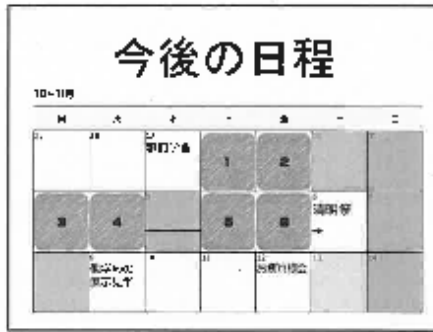
旅行の計画を立てるのに必要です。

資料3 (オ) 校外学習

単元名 校外学習 (1C 生単・1A 総合)				
教師：1 学年担副 生徒：1 ACD 男 10 女 8				
目標 (1) 校外での様々な経験を通して、見識を深め社会経験の拡大を図る。(観点3) (2) 公共施設と公共交通機関の利用の仕方や、きまりやマナーを学ぶ。(観点1) (3) 学級や学年の交流を深める。(観点2)				
パフォーマンス課題 一関のココ紹介				
パフォーマンス課題の目的 自分と社会とのつながりを考え、将来の生活に結びつける。(目標(1)、観点3)				
内容 1 自分の町の様子を仲間に伝える。 2 仲間の情報を共有する。 3 準備、実行、ふりかえり。				
ルーブリック評価表				
付 け たい 力  到達 水準	体験	見学	集団行動(移動、昼食)	事前・事後学習
	公共施設の利用の仕方を覚え、事後応用できる作品を完成させた	一関市の企業を知る 自分との関わりを考える	公共の場でのマナーを守る 時間の管理 移動 支払い等	自分の考えを持ち、共有し、他人の考えを参考にすることができる
	A ルールを守っている 周囲と協働し作品を完成させた	多様な社会事象を多角的に捉え、関連づけ、統合し、学びを通して問題解決を面で行っている	周囲と協力して時間や場所を確認し、意見を調整しながら適切に行動している	自分の感じたこと・考えたことを、理由や例を挙げ、将来の生活と関連付けながら伝えようとしている
B ルールを守っている 作品を完成させた	自分の見学した企業についての理解を深め、学びを単元の問いと意味づけている	教師の力を借りながら適切に行動できる	自分の感じたことを、根拠を挙げてはっきり伝えようとしている	
C 指導を受けながら制作した	企業について理解している	教師の指示を待つて行動している	調べた事実・内容と自分の考えをむすびつけられない 感想の要素が強い	

感謝→ 見学先の人 「デザイン HANAGE さん」に  
カツオの刺身定食やメロンソーダ、最後にデザートがおいしかったです。次も食べたいです。ありがとうございました。

評価ルーブリック		
到達水準		あてはまるところに○
A	調べたことを自分の将来の生活に結びつけ、伝えた。 じぶんとのかかわりがわかった。	<input type="radio"/>
B	はっきりした理由をあげながら、自分の考えを伝えた。 じぶんのいけんをはなした。	<input type="radio"/>
C	調べたことや感じたことを伝えた。 しらべたことやかんじたことをはなした。	<input type="radio"/>



### しつもんです

目標をつ、おぼえていますか。

- ① 表現 ひょうげん
- ② 協力 きょうりょく
- ③ 交流 こうりゅう

ワークシートに書きましょう。

### ルーブリック評価とは？

評価のものさしです。  
自分がどうなれば合格かを考えて、  
目標達成までのものさしを作っておきましょう。

**目標達成!**

### ルーブリック評価とは？

まず、①②③のうちどの目標を一番がんばるか  
決めましょう。

①	表現の能力を高めること、自分の考えを表現し、伝えること。
②	相手の意見を聞き、協力し合い、目標達成のために協力し合うこと。
③	交流を通して友達と仲良くすること。

あなたが一番がんばる?

### ルーブリック評価とは？

次に、どうすれば目標達成となるのか、  
自分のものさしを作っておきましょう。

①達成の目安

A	目標のほとんどを、自分の力で達成し、自信を持って発表する。
B	目標達成に近づける。
C	目標達成に向けて、協力する。

不足の箇所を改善し、目標達成のために努力する、目標達成を目指す。



テーマ **みんなで前進！〜ワクワクの未来へ〜**

1 日時 令和3年11月6日(土) 第二部(高等部) 13:15から

2 場所 本校舎体育館、作業室、図書室、各教室

3 目標 ①②③のうち、自分が一番頑張ることは、どれですか、○を書きましょう！

① 表現	日頃の学習活動を活かし、取り組んだ成果を生きて表出する。	
② 協力	個々の役割を果たし、協力し合い、共に取り組むことの充実感や達成感を味わう。	
③ 交流	文化祭を通して保護者との交流を深める。	○

4 ルーブリック評価表

自分に必要な力を身につけたり、自分の長所を更に伸ばしたりすることを目的としてルーブリック評価表を作ります。「これができたら合格」と思えるような課題設定をしてみましょう。下の例を参考にして、目標達成までのものさしを作っておきましょう。

A ②を表現する時、まねやまねをする

B ③を表現する時、まねやまねをする

C ③を表現する時、まねやまねをする

① 表現の例

- A 工夫する。進んで行動する。自分の分担以外も整える。じぶんでかかんがえる
- B 指示通りに行動する。当日までに制作物を完成させる。かかりのしごとをする。
- C 自分の役割がわからない。指示通りに行動しない。まにあわない。

② 協力の例

- A 周囲に気を配り主体的に調整・協力する。みんなとたすけあう。
- B 生や友達に言われた通りに行動する。自分の役割を果たす。かかりのしごとをする。
- C 自分の役割を投げ出す。人に迷惑をかける。かかりのしごとができない

③ 交流の例

- A 積極的に交流する。自分の言葉で説明やお礼を伝える。おきやくま楽しく話す。
- B 来客者からの挨拶に返事をする。あいさつへんじをする。
- C 自分の保護者とは話す・・・適切な挨拶ができない。あいさつしない。

事後ふりかえり

日誌 ③ 評価 A 感想 3人1組で保護者の方と話す。

日標 (パフォーマンス課題) 清明祭で販売するために、丁寧にみんなで協力して製品を作る。

内容 (そのためには...)

(1) 作り方を覚える 一人で作れる 誰でも再現できる

(2) 製品の精度を上げる 技術を上げる スピードを上げる 心を込める

(3) どうすれば売れるか考える(宣伝方法 Aと協力 SDGsを推進 精度を上げる 心を込める等)

個人日標 9月27日(月曜日)例「ゴコちゃん」を作ります。 意気込みを書きましょう。

先生から ミニサイズのミニゴコちゃん

先生から ミニサイズのミニゴコちゃん(長いもの、短いもの)の完成を月指ししよう!

評価ルーブリック

	(1) 製品をつくる	(2) 製品のよさ	(3) 社会生活につなげる
A	次も、準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	正確に、ていねいに作った	みんなと、面白い方法を思いついた
B	確認しながら一人で正確に作った	正確に作った	自分の考えを伝えた
C	先生に教えられながら作った	指示どおりに作った	みんなの意見を聞いて改善にした

毎日の自己評価 (ルーブリックを参考にABCで評価 上段は生徒、下段は先生)

月日(曜)	(1)	(2)	(3)
9/27(月)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
9/28(火)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
9/29(水)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
9/30(木)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/1(金)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/2(土)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/3(日)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/4(月)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/5(火)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/6(水)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/7(木)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/8(金)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/9(土)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/10(日)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/11(月)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/12(火)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/13(水)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/14(木)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/15(金)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/16(土)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/17(日)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/18(月)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/19(火)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/20(水)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/21(木)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/22(金)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/23(土)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/24(日)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/25(月)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/26(火)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/27(水)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/28(木)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/29(金)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/30(土)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる
10/31(日)	A 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	C ミニサイズのミニゴコちゃんを作ります。	B 準備から片付けまで一人で、正確に、作れる

ふりかえり 今回のは、準備から片付けまで一人で、正確に、作れる。

先生から 自己評価も書いて、いつもより、丁寧に、準備から片付けまで、一人で、正確に、作れる。

日標 (パフォーマンス課題) 清明祭で販売するために、丁寧にみんなで協力して製品を作る。

内容 (そのためには...)

(1) 作り方を覚える 一人で作れる 誰でも再現できる

(2) 製品の精度を上げる 技術を上げる スピードを上げる 心を込める

(3) どうすれば売れるか考える(宣伝方法 Aと協力 SDGsを推進 精度を上げる 心を込める等)

個人日標 9月27日(月曜日)例「ゴコちゃん」を作ります。 意気込みを書きましょう。

先生から ていねいなお手紙

先生から ていねいなお手紙(長いもの、短いもの)の完成を月指ししよう!

評価ルーブリック

	(1) 製品をつくる	(2) 製品のよさ	(3) 社会生活につなげる
A	次も、準備から片付けまで一人で、正確に、作れる	正確に、ていねいに作った	みんなと、面白い方法を思いついた
B	確認しながら一人で正確に作った	正確に作った	自分の考えを伝えた
C	先生に教えられながら作った	指示どおりに作った	みんなの意見を聞いて改善にした

毎日の自己評価 (ルーブリックを参考にABCで評価 上段は生徒、下段は先生)

月日(曜)	(1)	(2)	(3)
9/27(月)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
9/28(火)	B ていねい	C まかたで	B ていねい
9/29(水)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
9/30(木)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/1(金)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/2(土)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/3(日)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/4(月)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/5(火)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/6(水)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/7(木)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/8(金)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/9(土)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/10(日)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/11(月)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/12(火)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/13(水)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/14(木)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/15(金)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/16(土)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/17(日)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/18(月)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/19(火)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/20(水)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/21(木)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/22(金)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/23(土)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/24(日)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/25(月)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/26(火)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/27(水)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/28(木)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/29(金)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/30(土)	A ていねい	C まかたで	B ていねい
10/31(日)	A ていねい	C まかたで	B ていねい

ふりかえり ていねいなお手紙

先生から 月に、まかたで、ていねいなお手紙

〈参考文献〉

- 1 神山努 知的障害教育ならではの主体的・対話的で深い学びができる本 学研 2019.8.10.
- 2 西川純 今井清光 沖奈保子 すぐ実践できるアクティブラーニング高校国語 学陽書房 2017.5.22
- 3 田中博之 「主体的・対話的で深い学び」学習評価の手引き 教育研究開発所 2020. 5. 1
- 4 西岡加名恵・石井英真 Q&A でよくわかる!見方・考え方を育てるパフォーマンス評価 明治図書 2018. 10
- 5 学習評価のあり方ハンドブック 高等学校編 文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和元年6月 <https://www.nier.go.jp/kaihatu/shidousiryu.html>